

# ミッションウォーカー Mission Walker

Vol.1

2011.10

がんばっぺ、東北！

あらゆる方法をもって  
福音は述べ伝えられるべき

*Cambodia* カンボジア

*Malaysia* マレーシア

*India* インド

*The Philippines* フィリピン

*Bangladesh* バングラデシュ

*South Thailand* タイ南部

一人ではなく、  
神様によってみんな一つ

初めてのアウトリーチ



# ONE BODY ONE CHURCH

上田 益之  
(大津バプテスト教会牧師)

酒匂 一巳  
(紀の川キリスト福音教会牧師)

キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分はその力量にふさわしく働く力により、  
また。備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、  
結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。 ヘブル4：16

# 頑張っぺ、東北！

## 岩手 宮城 福島



### とも君インタビュー

#### —東北行きを決めたのはいつ？

3月11日の地震発生直後から、東北に行きたいと思っていました。8月の東北短期宣教に参加して、長期で移り住むことを決めました。

#### —なぜ決心出来たのですか？

子ども達を助きたい、というのが率直な理由です。高校生の時から、助けを必要とする子どものために働きたいと考えていました。以前は、虐待などで苦しむ子どもを助けたくて、だから保育士になったのですが、東北は今まさに助けが必要ではないか、と強く感じたんです。それで神様に自分を遣わして下さい、と祈り始めました。

#### —実際に被災されたのは、特にお年寄りの方が多いですね。

これまで3度東北支援に行き、被災地の現状を見て、全ての孤独な人や助けを必要とする人の力になりたいと思うようになりました。

#### —東北に行くことが決まって1か月経ちました。

住むとなると不安もあります。寒さが苦手な冬を越せるかなあとか（笑）。でも自分の願いは出て

3月11日の震災直後から、数多くのクリスチャンが被災地に駆けつけ、短期または長期で復興支援と宣教活動に取り組んできました。現在、CCMNからは7人の香港人宣教師が東北に移り住み、被災者の復興支援に携わっています。現地ではこの先も復興に向けて、長期的な支援が不可欠です。東北の祝福のため、神様の働きのため、お祈り頂けたら幸いです。



行って神様に従って弟子を作ること。

引っ越し日程とか住む家とか、色々具体的に決まって、今はワクワクと不安が半々ですね。

#### —東北でやってみたいことは？

被災地の幼稚園などを回って、子ども達と接したいです。保育士の経験を活かして長期的に子ども達と関わりたいですね。

ゲートボールもしてみたい。お年寄りの方と一緒に遊びたいな（笑）。カラオケで演歌を一緒に歌うのもいいですね。東北弁も話せるようになりたいです。

あと、仮設住宅の人と一緒に聖書を読みたいです。聖書を通して聖霊様が語って下さると思うので。

#### —生活面では？

神様の前に謙遜に生活したいです。聖書も毎日読みたいですし、いつも学ぶ姿勢でいたいです。

#### —同じ世代の若いクリスチャンに向けてメッセージをお願いします。

あなたにも出来ます！と言いたいです。神様に示されてその声に応えるなら道は開かれます。もし、宣教したい人がいればご一報下さればいつでもお祈りします！

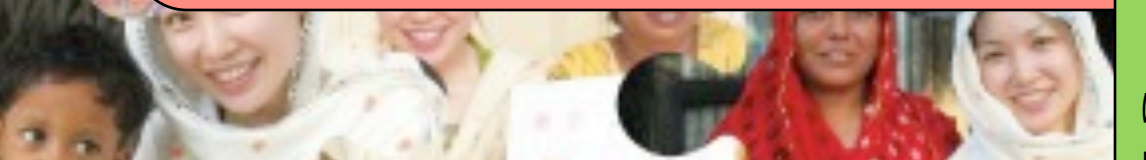


《カンボジア》  
 カンボジアの人たちはとにかく純粹でした。毎晩開かれたゴスペル集会で多くの人々が神様を信じました。福音を恥ずかしがらず、大胆に伝えることが大切であり、必ず神様が働いて下さると学びました。カンボジアはすごく安全です。そして福音を伝える人が必要です。ぜひ短期宣教に参加しましょう!!カンボジアは素晴らしいですよ!!  
 けん (紀ノ川 23)

《規制国》  
 最も印象深かったのは、現地宣教師の「地域に仕える姿勢」でした。自分の利益を顧みず、地域の必要を探り、人々の魂の救いのため愛を持って行動する。「経済的な苦勞はあっても、それ以上に神様の奇跡を体験できる」と語っていました。  
 私は英語が上手くありませんが、現地で英語が上手くない友人を作って福音を語る事ができ「聖書を長期宣教師と一緒に学んでいきたい」と言ってくれました。神様は予想外の恵みを与えてくれました。神様が用意してくれる可能性を最大限に活かしましょう!  
 健太 (紀ノ川 26)



《2011年CCMN短期宣教チーム受入れ》  
 チームのみんなが情熱と愛をもって活動し、毎日アウトリーチに行きました。英語のバイブルスタディクラスに来ていたふたりの若い女性がイエス様を信じました。自分もチームの情熱をもらい、とても励まされました。  
 のぶさん (ICBC 40)



《佐賀短期宣教》  
 緊張の中短期宣教に参加し、充実感に満ちて帰ってきた。一週間、サッカーの試合のように宣教というゴールを目指して、全力でチームワークに取り組めたからだと思う。「何としてもひとりの人をキリストに導くのだ!」という気迫、「楽しもう!助け合おう!与えていこう!」という雰囲気、宣教こそ最善の弟子訓練という体験をした。  
 チャンチャン (練馬 39)



《マレーシア》  
 世界宣教(マルコ16章)という主の願いを、実際に体験したいと思い、参加しました。一週間、ホスト教会の礼拝堂で、16人(男8名、女8名)が共同生活。初めての経験でした。偉大な神様は普通の人を用いて、ご自身の偉大な業をなさる。神様に頼らざるを得ない状況こそ、神を体験できる恵みの時です。宣教は特別な人だけが担う重荷でなく、私たち皆が宣教者として招かれている。宣教とは、日常生活からかけ離れているのではなく、日々の生活そのものになることが大切だと気づかされました。  
 上田益之 (大津バプテスト教会主任牧師)



《台中banner churchのメンバーを迎えて》  
 台湾チームと過ごして、チーム皆の気持ちと向かっていくものが一致していると感じました。とても明るくいつも喜んでいて、自分はなんでいつも悩んでいたんだろう、と思いました。神様の愛の中で、一人一人がとても純粹で、素敵で、賜物を一つ一つの体の部分のように沢山使っていたように感じました。諦めずに、いつも祈りと共に行動をする事、神様に聞く事を改めて学びました。感謝の気持ちでいっぱいです。  
 山中香織 (紀ノ川 27)



# South Thailand

## タイ南部

ゆうちゃん（紀ノ川 27）

初海外の初短期宣教。コミュニケーションがうまくとれず孤独を感じていた私に、チームのみんなはいつも一緒にいるよ、と声をかけてくれました。励ましが必要な時に励まされる事でこんなに愛されていると感じるんだと改めて思いました。神の家族はすばらしい。

タイ南部はイスラム教徒ばかりで、ある村は100%イスラム教徒でした。私は、村を賛美して歩いているといつも目に涙が浮かんで来て、神様の愛が届く様に心から祈りました。英語の授業を通して福音を伝える機会が与えられ、泊めてもらった家族のために祈ることができました。その家の女の子がイエス様をもっと知りたいと言った時、神様はクリスチャンが一人もいない村でも奇跡を起こされるということを体験しました。

海外の宣教ってどんなことするの？ 英語できないけど、体弱いけど大丈夫？ と思っていただけ、チームのみんながフォローしてくれました。タイに行くと悪くなるかもと不安だったアトピーが帰国後は以前よりよくなっているし、想像以上に楽しくて、神様のことをたくさん知れて、愛されていることがすごくわかった2週間でした。



# Nepal

## ネパール

北坂信頼（大津バプテスト教会）

7月20日から8月11日にかけて、ネパールへの短期宣教に参加させていただきました。ネパールは、インドと中国の間、世界で唯一国旗の形の変な国、世界で一番高い山・エベレストのある国です。僕たちのチームは、香港人13名、アメリカ人6名、日本人1名(→僕!) の計20名のチームでした。現地の主な活動拠点はタンセン(Tansen)という町で、標高約1300m、首都カトマンズから西へバスで8時間ほど走ったところにあります。15日間の宣教中には、様々な体験をさせていただきました。

自分が役に立たないと感じたとき、夜中にお風呂で小さな虹を見たり、コミュニケーションが取れないネパールの方には自分の体験を通して励まし、祈れたり、とにかく様々なことがありました。記録係の方によると、この旅行で、200名以上の方が神様を信じる祈りをしたそうです。

色々なことがありましたが、その中で、神様が本当に働いておられること、また祈りが聞かれていること、自分が祈りに支えられている事を見る事が出来ました。

皆さんのお祈りに本当に感謝します。また僕の大学生活、信仰生活、特に人間関係の為に是非続けてお祈りください。本当にありがとうございました。

